



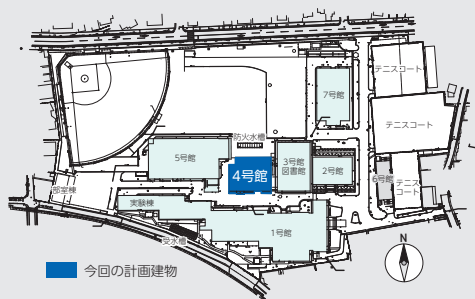
キャンパスの新しいシンボル

兵庫県尼崎市にある園田学園女子大学は授業や実習に加え、人との出会い、社会との関わりなど人を成長させるための経験を積める教育の場を整えられています。

阪急塚口駅から徒歩10分の場所に位置し、京阪神の主要なターミナル駅から通いやすいことも魅力のひとつです。

当社が建設に携わった櫛和館（新4号館）は、令和3年に新設された「経営学部」が主に使用するキャンパスとして新設されました。「女性のための経営学部」として基本となる経営、会計科目に加え、女性の視点を生かせるコーチングマネジメントなど心理学、情報、法律分野の科目も充実させた新しいスタイルの経営学部が誕生しました。

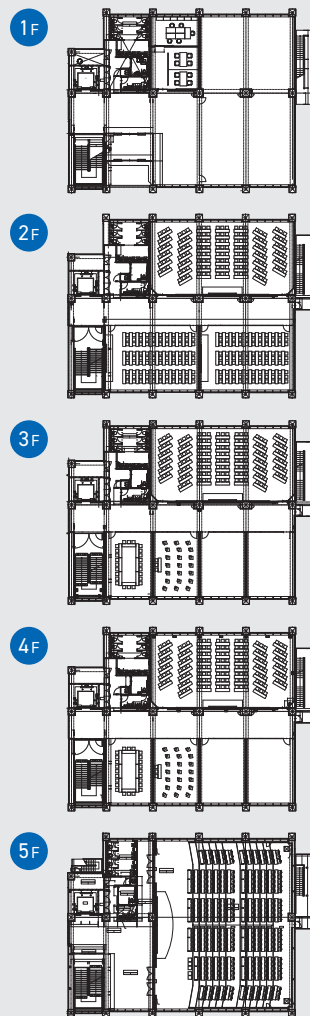
配置図



園田学園女子大学 けやきなかん 櫛和館（新4号館）

施工地：
兵庫県尼崎市南塚口町7丁目221
竣工年月：令和4年3月
構造：鉄筋コンクリート造5階建て
延べ床面積：約3,200m²
設計担当：後藤 浩史

平面図

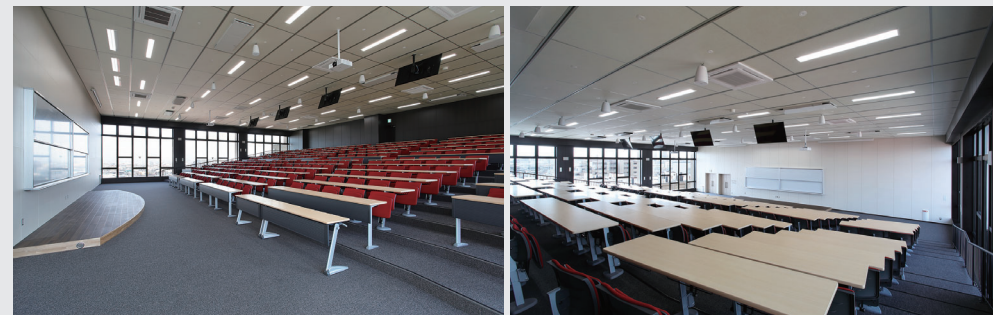


大学発展の中心的な役割を担う櫛和館（新4号館）

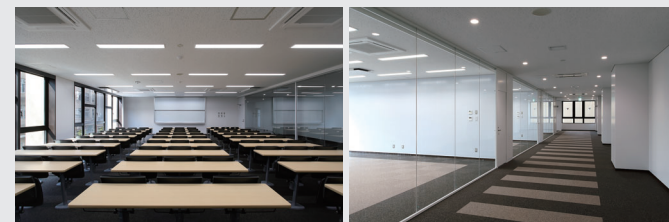
本施設は大学構内の中心に位置し、今後の大学発展のなかでも中心的な役割を担うことを目指し、設計を進めました。まず早急な施設の整備、工事中の騒音軽減などを考慮した工法を採用。工期を短縮し、完成後も騒音の少ない建物構造としました。さらに建物の内部の自由度を高め将来の施設の変化にも容易に対応できるように計画しました。

快適な学習環境

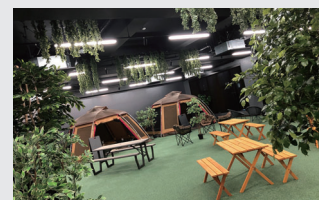
5階には300人収容の大講義室を設け、様々な講義形式に対応。南北の眺望に富んだ居心地の良い講義室になっています。



2～4階は小・中講義室を設け、ガラスパーティションで仕切り開放的な新しいスタイルの講義室としています。



1階は学生が自主学習や、コミュニケーションを図るための学生広報プロジェクトとして、キャンパスをテーマにしたクリエイティブコモンズを設けました。



女子トイレはフロアごとにコンセプトの違うパウダールームを設置。学生に人気のスペースとなっています。

